

■多様なパートナーとともに、2050年のカーボンニュートラルを達成する

- サプライチェーン全体での温室効果ガス排出量を公開し、Scope1では2035年に2025年比42%削減、Scope2は排出量ゼロを維持、Scope3は随時計算を実施します。
- 再エネ電力100%利用やCO2排出係数の低い燃料への切り替えにより、廃棄物処理にかかるCO2排出量を削減します。
- 脱炭素経営の可視化・削減支援を通じ、ステークホルダーの脱炭素推進にも貢献します。

■人間と生き物がつながる「KAYAMA NATURE BASE」の構築を推進する

- 自然資本の保全を経営指標に位置付け、KAYAMA自然「回復」プロジェクトとして3拠点での生物多様性回復に向けたロードマップを策定しています。
- 「KAYAMA NATURE BASE」内のKAYAMAファーム、千両の里山、Re:farmを拠点とし、自然と触れ合える学習フィールドを構築します。
- KAYAMAファームでは約20,000匹のミツバチを育成し、周辺環境のモニタリングを実施しています（2025年8月時点）。
- 千両の里山では約1.5haの森を整備し、自然観察会やワークショップを開催します。
- Re:farmでは、化学肥料を使わず持続可能な農業を推進し、耕作放棄地の再興に取り組みます。

加山興業は今後も、マルチステークホルダーとの連携を強化し、環境負荷低減と循環型社会の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

【問い合わせ先】

加山興業株式会社 経営企画室 MAIL : kikaku@kayama-k.co.jp TEL : 0120-053-381

